

土に秘められた北海道の自然史

地域環境学研究部門

環境農学ユニット

筒木 潔

<http://timetraveler.html.xdomain.jp>

→ my lectures

Map of Japan/Hokkaido, Amsterdam mヤン・ヤンソニウス (1658)



十勝がTakapsy、白糠がSivarca、日高山脈は「雪の山脈」、阿寒は「青い山」と記載されている。



Explanation of the map

ヤン・ヤンソニウス

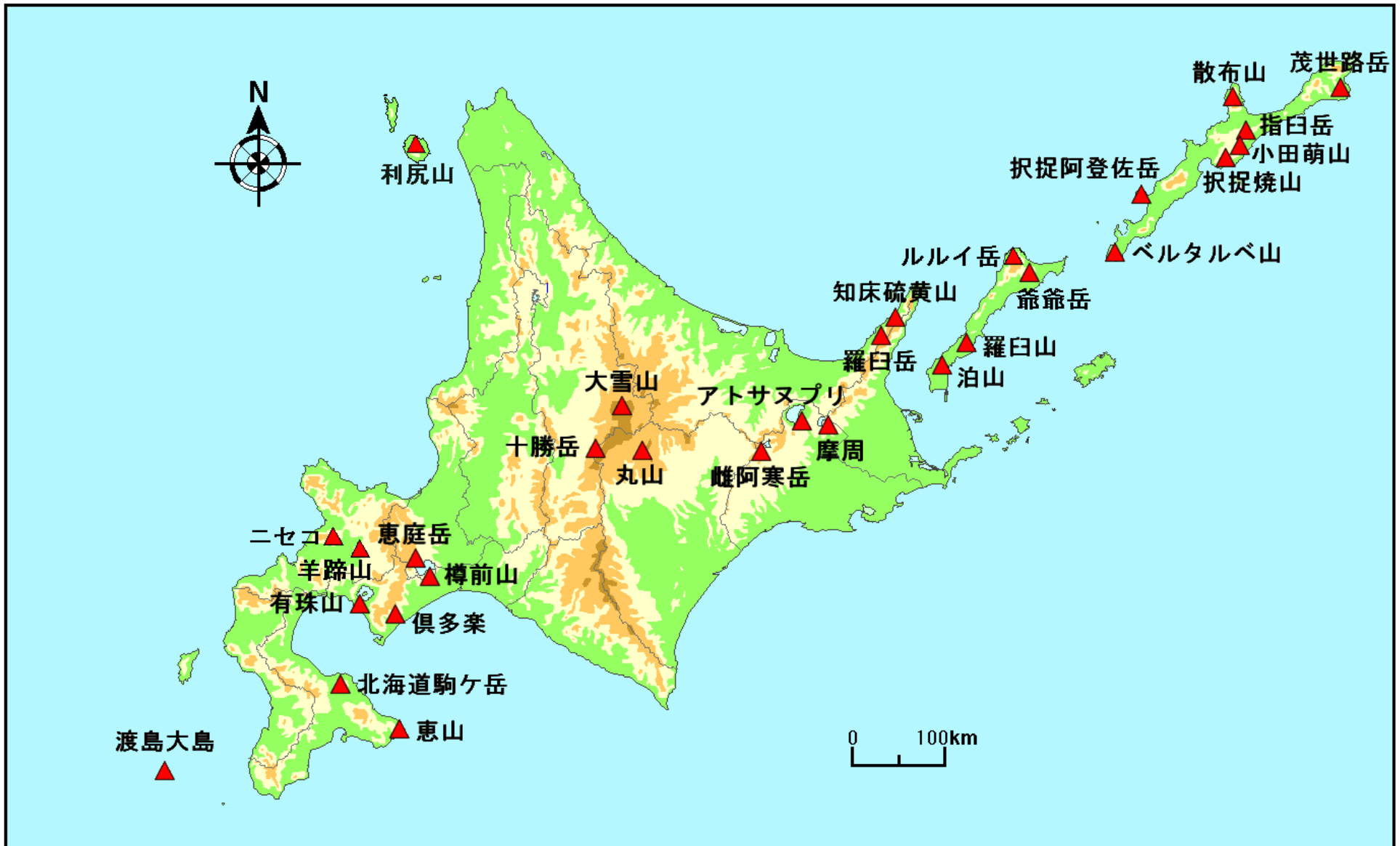
日本・エゾおよび周辺諸島図

アムステルダム 1658年 銅版 手彩色（「新地図帳」より）

オランダの航海者フリースの1643年のエゾ地周辺航海の成果を十分に利用したもっとも初期の地図の一つである。オルテリウス／テイセイラ型の日本図の北方にフリースのエゾ地図を追加しているが、津軽海峡が著しく広いのは、北海道南部と東北地方北部が欠けているためである。

この厚いローム層は何をものがたる
のか？（更別村弘和にて）





北海道の活火山分布

恵山



駒ヶ岳



駒ヶ岳



有珠山





樽前山（支笏湖側から）

雌阿寒と阿寒富士



火口

屈斜路湖

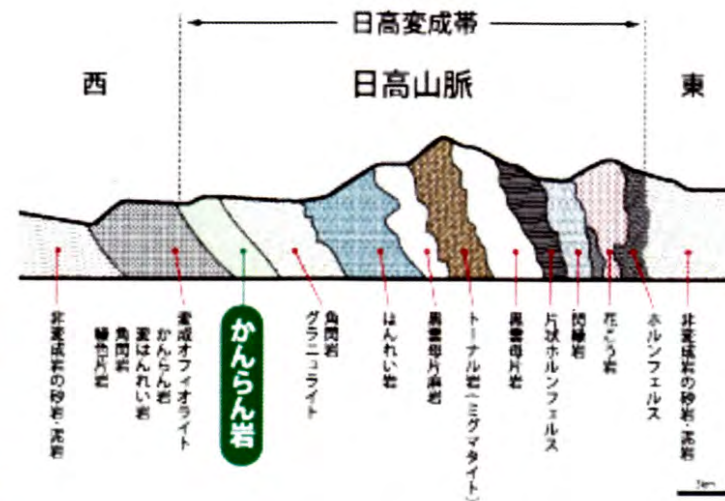


摩周湖



約1300万年前(新第三紀中新世)プレートの衝突によって日高山脈の隆起が始まった。

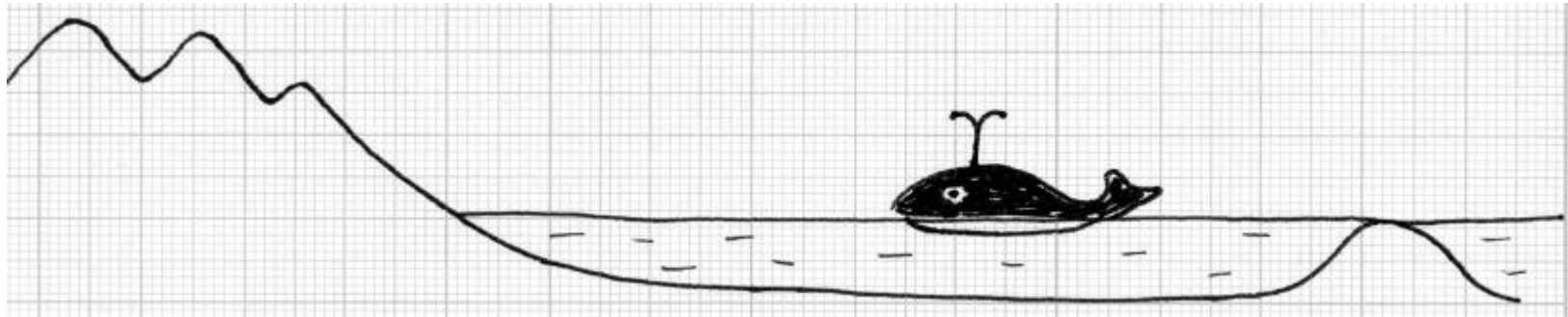
2. 衝突によって生まれた日高山脈とアポイ岳 | 「アポイ岳ジオパーク」公式サイトー北海道様似町を丸ごと楽しむ大地の公園



日高山脈東西断面図

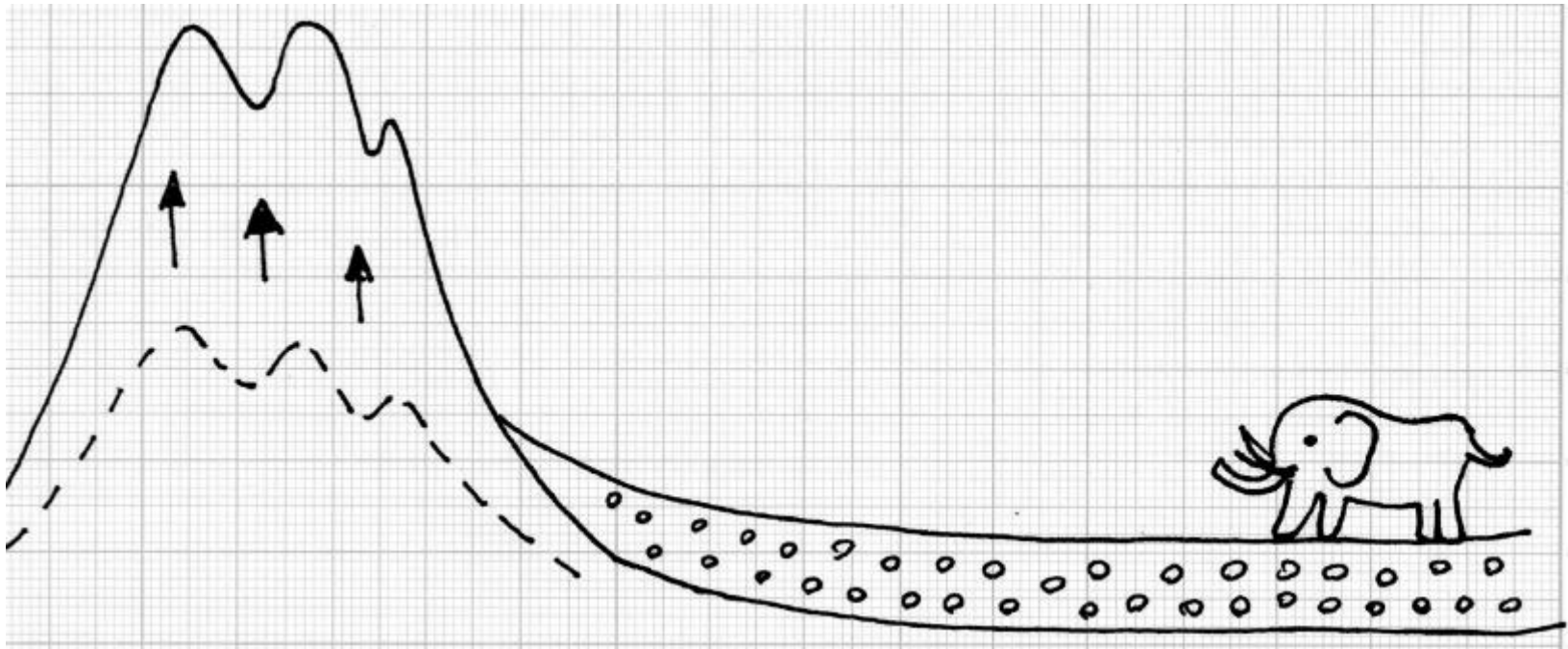
更新世前期(164万～78万年前)

十勝平野は外洋につながる入り江だった。



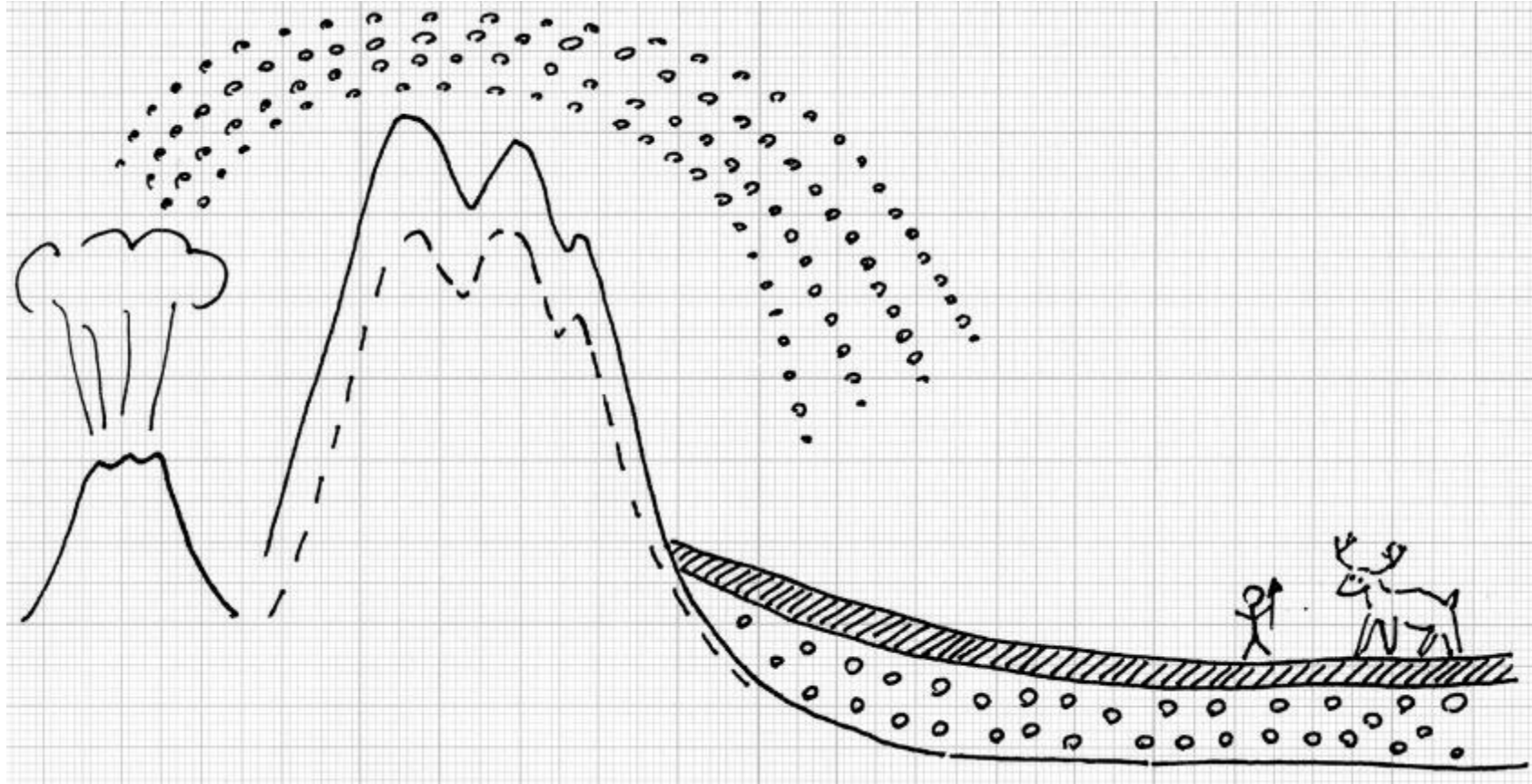
更新世中期(78万～13万年前)

日高山脈が隆起するとともに、多量の土砂とレキが
平野に堆積した。



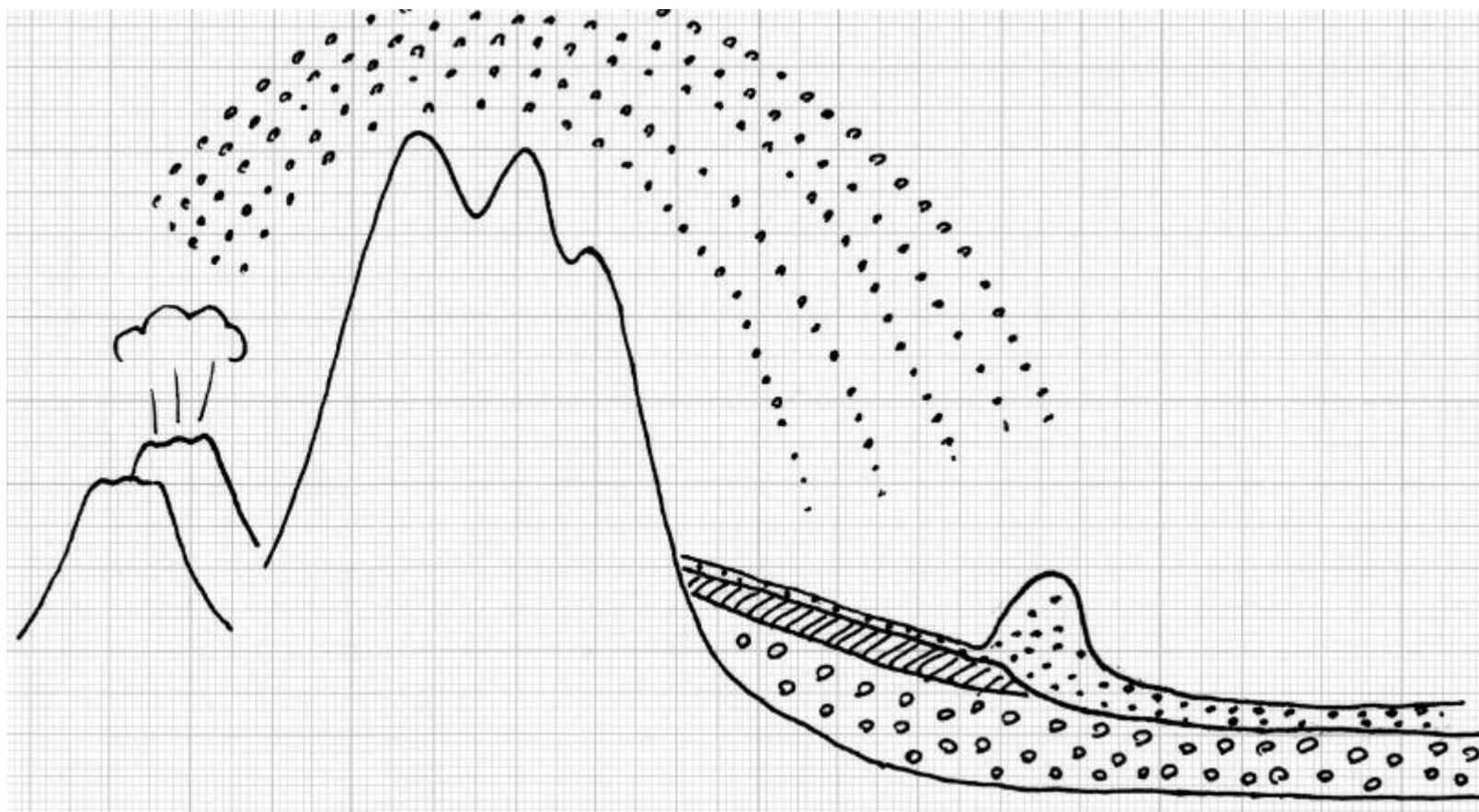
更新世後期(13万～4万年前)

火山灰の降灰(洞爺テフラから支笏1まで)。温暖な間氷期から寒冷な最終氷期へ



更新世終期(4万～1万年前)

浸食と新たな火山灰の降灰(恵庭aなど)。古砂丘の堆積。氷河期。



完新世(1万年以降)

温暖化。海進と海退。新しい火山灰の降灰。浸食と沖積平野の形成。人類の活動。縄文文化。

